

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	05	みやまえ太鼓ミーティング開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		滋野	65354	

事業の概要									
事業の概要		地域の魅力である文化・伝統の再認識と民俗芸能等を活用した地域コミュニティの促進を目的に、区内の太鼓演奏団体を一堂に会した「響け！みやまえ太鼓ミーティング」を継続開催します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		平成12年度	—						
地域の課題と現状		宮前区は昼間人口が少なく、地域のつながりが希薄となっていることについて、第1期区民会議で指摘されるなど、宮前区の特徴を活かし、人と人がつながるコミュニティを形成していくことや、円滑に地域文化・伝統を継承していくことが課題となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,851	2,520	1,877	1,856	2,017			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2,851	2,520	1,877	1,856	2,017			

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の魅力である文化・伝統を再認識し、民俗芸能等を活用した地域コミュニティの促進に取り組みます。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●区民主体のイベントとすることで、区民や団体、地域間の交流を促進し、地域の一体感を図ります。 ●区内外の中・高等学校や保育園等にも協力してもらうことで、伝統文化の継承を促進します。 ●ゲスト出演者によるワークショップを開催し、太鼓団体のスキルアップを図ります。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		区内12太鼓団体の参加と、保育園・中学校等の協力により、「第21回 響け！みやまえ太鼓ミーティング」を開催し、来場者は1,600人と目標値を達成する等、十分に効果があったと考えます。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	来場者数	目標	1,700	1,600				人
				実績	1,700	1,600				
	2			目標						
				実績						
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区民を主体とした文化・伝統芸能、民俗芸能等の保存と継承には、市民活動団体相互の交流の支援と促進・情報の共有と活動場所の提供等の支援等が必要となっています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 元 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		伝統文化の創造・継承として、太鼓ミーティングから発生した楽曲「なつの風」の継承に取り組んでいます。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	イベントへの中学校の参加意欲の高さや、体験コーナーの参加者が多いことから、伝統文化に触れるニーズや興味は高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	天気の状況により来場者数は変動しますが、宮前区の夏の風物詩として定着しており、一定数以上の来場が見込まれます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	ゲストによる公演やワークショップを行わないことで経費の削減は図られますが、イベントの魅力が薄れ、夏の風物詩としての役割が果たせなくなることが予想されます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 伝統芸能に関する区内最大規模のイベントであり、宮前区の夏の風物詩として定着しつつあることから継続して開催したいと考えます。また、太鼓だけでなく、区内に伝わる民俗芸能の紹介の場となっており、地域や学校等との連携強化を図りながら、地域文化・伝統の継承にも貢献していきます。(新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、感染拡大防止のための延期・中止も含め、状況に応じて適切に実施していきます。)

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	10	地域の魅力発信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		吉川・渡利	内線65355	

事業の概要												
事業の概要		宮前区には歴史文化、自然、都市農業、市民活動等の魅力的な資源が数多くあるが、区民にあまり知られていないことから、隠れた地域資源の魅力に関する情報の収集・整理と、マップ作成やイベント等による効果的な情報発信を行うことで、区民の地域への関心や愛着心を深め、郷土愛の醸成につなげていきます。										
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費				
		平成20年度		—								
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●当事業により、区民に区の魅力を再発見してもらい、地域への関心や愛着心を深めてもらうとともに、地域づくりやまちづくりに対する参画を促すことが期待できます。 ●昼間人口比率の低い宮前区において、区外を日常の生活圏としている人が多く、地域をよく知らない区民が多いと考えられるため、地域魅力を再認識し、共有してもらうことが地域づくり、まちづくりに必要となります。 ●第2期区民会議において、宮前区は歴史文化、自然、都市農業、市民活動等の魅力的な資源は多いが、区民にあまり知られていないことが課題と指摘されています。 										
予決算 (単位:千円)	年度	事業費	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
		財源内訳	国庫支出金		453		678		694			
			市債									
その他特財												
		一般財源	521	453	828	678	694					

計画 (Plan)	
事業の目的	●地域資源を紹介するマップ等の配布や、マップを活用したウォーキングイベントの実施を通して、より深い地域資源への理解を促します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区歴史文化調査委員会に委託し、歴史ガイドマップの改訂やウォーキングイベントを実施します。 ●宮前区まちづくり協議会に委託し、区内農業に関する情報を掲載したマップを活用したウォーキングイベントの実施します。また、区内農業の魅力を発信する農フォーラムを開催します。

実施結果 (Do)												
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●宮前歴史ガイドを改訂し、計5,000部作成・配布しました。歴史文化に係るウォーキングイベントを2回開催しました。 ●農に係るウォーキングイベントを2回開催するなど、目標どおり実施しました。 										
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
		1	活動指標	宮前歴史ガイドを活用したウォーキングイベントの開催			目標	4	4			回
							実績	4	2			
		2	活動指標	農家巡りウォーキングの開催			目標	2	2			回
							実績	2	2			
3					目標							
					実績							
4					目標							
					実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域への愛着を深めるために、継続した情報の収集と整理、効果的な広報等の啓発活動が必要となっています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 31 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		宮前区の歴史的遺産を把握し、新たに旧石器時代出土品が市の重要歴史記念物に指定された「鷲ヶ峰遺跡」を年表に盛り込んだ「宮前歴史ガイド」(マップ)の改訂版を発行しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	年に2回開催している農家巡りウォーキングは申込み当日に定員に達するなど、人気のあるイベントとなっており、区民の都市農業と地場産野菜への関心、ニーズは高まっていると考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ウォーキングイベントへの参加希望者は多く、一部希望超過によりお断りすることもあることから、活動の成果は上がっていると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	市民との協働事業として実施しており、これ以上の役割分担の見直し、経費削減は難しいと考えます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 宮前区の魅力を再発見し、地域への関心や愛着心を深め、郷土愛の醸成につなげるためには、引き続き、事業を継続して実施していくことが必要と考えます。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	25	宮前区スポーツ推進事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部地域振興課			小林	65360

事業の概要

事業の概要		健康を維持するために、区内スポーツ施設、川崎市または宮前区にゆかりのあるトップアスリートを活用し、スポーツ等を気軽に親しむ環境づくりをします。また、地域に根ざした総合型地域スポーツクラブへの理解と協力を促します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業			
		平成22年度	—						
地域の課題と現状		区内スポーツ施設数が十分とはいえない中で、事業に参加した区民のスポーツや健康づくりの継続が課題です。							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2398	2376	2,394	2,396	2,542			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	329	308	425	344	425			
	一般財源	2069	2068	1,969	2,052	2,117			

計画 (Plan)

事業の目的	健康寿命延伸に向けた、子どもたちの体力向上、高齢者の健康づくりやコミュニケーションの場づくりをします。
今年度の事業の取組内容	フロンタウンさぎぬまとの連携事業、スポーツふれあい事業を実施します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・フロンタウンさぎぬま連携事業4メニュー39回実施(うち1回は悪天候により中止) ・令和元年7月20日 宮前ふれあいスポーツフェスティバルを開催							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	成果指標	フロンタウンさぎぬま連携事業	目標	900	900	900	人
				実績	940	696		
	2	成果指標	宮前ふれあいスポーツフェスティバル	目標	530	530	530	人
				実績	703	618		
	3			目標				
実績								
4			目標					
			実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	コロナウイルス感染拡大防止に伴う「新しい生活様式」に向けて、新たな課題に対応する必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 31 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	宮前ふれあいスポーツフェスティバルについて、仕様書を見直し、より多くの方が参加できるようにしました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民がスポーツを行う機会を提供できており、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	フロンタウンさぎぬま連携事業についてはイベントの中止があったものの、宮前ふれあいスポーツフェスティバルとともにほぼ目標どりの参加者数が確保できており、数値として現れていることから、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	フロンタウンさぎぬま、総合型地域スポーツクラブとの連携を進めています。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	フロンタウンさぎぬま、総合型地域スポーツクラブと連携を図りながら事業を継続することが適切であると考えられます。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を念に入念に行った上での事業実施をします。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	30	地域情報発信事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691650		まちづくり推進部企画課			高橋	65121

事業の概要

事業の概要		地域への愛着や関心を高めるため、地域のイベントや伝統行事、様々な地域資源を盛り込んだ冊子等による情報発信を行います。ぐるっとみやえについては、2年ぶりの大幅改訂を行います。さらに、ガイドマップを発行し、区内の主要施設・防災拠点等の基礎情報の周知と共に、区の魅力発信を行います。また、「宮前兄妹」(2012年度誕生)など区の魅力をアピールするイメージキャラクターや、町内会・自治会への回覧物の一括配送の仕組みを効果的に運用していきます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業				
		—	—						
地域の課題と現状		地域社会における住民相互の関係が希薄化する中、住民が地域に関心をもち、自ら参加していくためには、さまざまなメディアの活用による効果的な情報発信が必要です。イベントや伝統行事など地域で行われている活動や、区が実施している取組は数多くありますが、それを知る手段が少なく、区民会議においてこの課題について議論・提案が行われた経過があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,430	2,890	2,990	2,717	2,579			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	120	200	240	160	240			
	一般財源	3,310	2,690	2,750	2,557	2,339			

計画 (Plan)

事業の目的	地域資源を掘り起こし、その魅力を発信することで、区民の地域への愛着や関心を高め、地域活動への参加を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	みやまえガイドマップの改訂・発行、転入者向け冊子「ぐるっとみやまえ」の時点修正・発行、回覧物一括配送、PRキャラクター(宮前兄妹・カッチャん)の貸出を行います。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	ガイドマップの発行、区民が作成する情報誌「ぐるっとみやまえ」の時点修正・発行を行い、配架先施設の拡充もすすめ、効果的な情報発信に努めました。また、回覧物一括配送について、送達先管理等の適切な運用に努めました。区のPRキャラクターは、地域の様々なイベントで活用され、区民に浸透しています。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	目標					
		実績					
	2	目標					
		実績					
3	目標						
	実績						
4	目標						
	実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	インターネットが普及し、様々な情報媒体が存在する中で、効果的な情報発信のあり方を検討して行く必要があります。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 27 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	様々な情報媒体があるなかで、情報発信のあり方を整理し、平成27年度末で「歳時記みやまえ」を廃止しました。今後も、既存の刊行物等について、効果的な情報発信のあり方を検討しつつ整理して行きます。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民が一人ひとりが地域への愛着・関心をもつことが地域の様々な課題を解決していく糸口となるとことから、地域の活動や魅力的な地域資源の情報を発信していく必要性は、ますます高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	刊行物の配架先施設を増やした結果、手に取る区民が確実に増えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	広報媒体への広告募集・掲載を増やすことにより、さらなる歳入を得る可能性があります。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	様々な広報媒体を効果的に組み合わせ、今後とも情報発信に取り組んでいきます。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	05	みやまえカルタ活用事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		岸本	65358	

事業の概要									
事業の概要		第2期区民会議から提案され作成した「みやまえカルタ」の貸出、販売を推進するとともに、地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとして活用していきます。							
実施期間		事業開始年度 平成22年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業	
地域の課題と現状		都心のベッドタウンとして発展し、核家族化が進み、市外への通勤・通学者が多い宮前区では、地域への興味や愛着が薄れがちであるため、それぞれが日々暮らし過ごす地域を知ることにより、地域への関心や愛着を高めることが求められています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	49	0	37	32	18			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	49	0	37	2	18			
					30				

計画 (Plan)	
事業の目的	宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進していきます。
今年度の事業の取組内容	地区カルタ、記念カルタの販売と貸出の広報活動の推進 区内で開催されるイベント等における販売活動やカルタ展示等による普及促進

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に広め、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとなるよう、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を推進しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	みやまえカルタの貸出数	目標	10	10			
				実績	9	8			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域への愛着や関心が希薄となる傾向のある中で、区内外に誇れる資源を幅広い世代に伝えるとともに、情報発信を推進するためみやまえカルタの役割は将来に渡って重要なものとなっていきます。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業関係経費を削減し、販売に係る歳入予算額と同額の歳出需用費のみ予算化しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	幅広い世代へ宮前区の地域資源を継続して広めていく必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	カルタの販売は一定のニーズを保っており、イベント用には大型版の貸出も継続しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業経費を節減し歳入の範囲内での予算化を継続します。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進していきます。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	40	宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		杉本	65122	

事業の概要

事業の概要		第4期宮前区区民会議において、人とのつながりや地域への帰属意識の希薄化、市民活動の認知度向上等が課題として議論され、各世代の文化や体験、記録を共有すること等を目標に、「区誕生40周年、市制100周年に向けたアーカイブ事業の実施」が提案されました。これを踏まえ、区役所内において検討を重ね、事業化するに至りました。									
実施期間		事業開始年度 平成25年度		事業終了年度 未定		予算中事業		地域資源活用事業			
地域の課題と現状		様々な世代間交流の活動や社会的・文化的資産など地域資源に関する情報は、各団体等がバラバラに所有しており、包括的な収集・保存・活用は行われていません。放っておけば散逸の恐れがある地域資源の記録を世代間で保存・伝承して行く必要があります。また、まちの形成史を適切に把握・保存することは、今後のまちづくりに関する取り組みを行う上でも重要といえます。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
	事業費	150		135		150		132			
		財源内訳									
	国庫支出金										
	市債										
	その他特財										
	一般財源	150		135		150		132		150	

計画 (Plan)

事業の目的	世代間交流の活動を記録し、共有することで、世代間交流に対する参加意識の醸成をはかります。また、地域資源の記録を世代間で保存・伝承していくことで、宮前区へのふるさと意識を高めていきます。区誕生40周年、市制100周年を見据え、関係局等の動きも踏まえ事業の方向性を検討していきます。
今年度の事業の取組内容	過去の写真の募集を区民に呼びかけ、効率的・効果的に収集を行います。引き続き、アーカイブに関する各局区の動向の把握に努めていきます。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	事業展開方法を検討し、効率的・効果的な収集・管理について方向性を確認しました。また、パネル展を実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標 区民の目に直接触れる機会の提供(展示等)	目標	1	1			回
			実績	2	3			
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
	4		目標					
実績								

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	市政100周年を見据えた全市的な動きを考慮しながら、宮前区としての取り組みの方向性を検討していく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>	平成27年度は庁内で試行的に写真を収集し、当初平成28年度以降は区民からの写真の収集等を検討していましたが、効率的・効果的な事業実施のため、実施手法を見直しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域資源や地域活動を適切に記録し、世代間で保存・伝承していくことが求められています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ホームページ上での写真の公開のほか、パネル展を実施しました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区ホームページ上に「みやまえデジタルミュージアム」を開設したことで、大幅なコスト負担なく、運用していくことができています。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	「みやまえデジタルミュージアム」やパネル展の公開資料・写真を充実させるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、広く区民の目に触れる機会について検討していきます。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	45	宮前区総合情報発信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		杉本	65122	

事業の概要											
事業の概要		区内の魅力的な地域資源を区内外に広く発信し、区民の地域への愛着の醸成や地域のイメージアップを図ることを目的に、宮前区の広報番組を制作、放送します。また、区役所ロビーの窓口発券モニターやYouTubeでも動画配信を行います。区民目線での魅力発信を目指し、番組の企画・取材は区民が記者となって行います。									
実施期間		事業開始年度 平成29年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業			
地域の課題と現状		情報発信の媒体が多様化する中、より効果的な情報発信の方法として、紙媒体を主とした情報発信から、新たな媒体として映像の導入を模索していく必要があります。									
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
		事業費		1,499	1,499	1,608	1,608	2,010			
		財源内訳	国庫支出金								
		市債									
		その他特財									
		一般財源	1,499	1,499	1,608	1,608	2,010				

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の魅力的な地域資源を発信することで、それを見た人が地域への愛着・関心を深め、地域とつながりを持つきっかけとすることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	宮前区の地域情報冊子『ぐるっとみやまえ』の特集と連動した番組を制作し、複合的なメディア展開を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		区民の情報発信団体「みやまえ情報ラボ」と協働して、宮前区広報番組「ぐるっとみやまえTV」を3本制作し、地域のケーブルテレビ「イツ・コミュニケーションズ」で放送しました。また、区役所ロビーの窓口発券モニターやYouTubeでも動画配信を行いました。今年度からはメイキング動画の作成及びYouTubeでの配信も行い、より効果的な情報発信に努めました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	番組制作本数	目標	3	3				本
				実績	3	3				
	2	活動指標	動画配信本数	目標	3	3				本
				実績	3	3				
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		更なる区民の地域への愛着の醸成や、地域のイメージアップを図るために、区内の魅力的な地域資源の情報の収集と整理、効果的な広報等の啓発活動の実施が必要となっています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)平成 30 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		切れ目のない情報発信を行うため、平成30年度の「イツ・コミュニケーションズ」での放送回数及び放送期間を変更しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	番組の企画・取材を区民記者が行っており、区民目線で区内の魅力的な地域資源を効果的に発信できたと考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	動画制作本数について、目標値を達成するなど、一定の成果があったと考えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区民目線での魅力発信には、区民と協働で行う事業スタイルが最適であり、役割分担等の見直しは難しいと考えています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 区内の魅力的な地域資源を区内外に広く発信し、区民の地域への愛着の醸成や、地域のイメージアップを図るためには、引き続き、区民記者と協働して、事業を継続して実施していくことが必要と考えています。また、来年度に向けては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した番組の企画・取材方法の検討が必要と考えています。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	05	花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		渡利	内線65355	

事業の概要									
事業の概要		花苗支援等を通じて、緑化活動団体の活動の活性化と、団体相互の交流を推進させることにより、区民による花と緑のあふれるまちづくり(緑化活動)の促進、区内の緑化団体・公園管理団体の拡充を行います。							
実施期間		事業開始年度 平成23年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
地域の課題と現状		現在、区内の公園においては自主管理団体(緑化活動団体)が個別に活動し、また、3割の公園においては、地域による自主管理がされていない状況にあります。第4期宮前区区民会議においても、公園を地域コミュニティの核として活用することが求められており、地域管理の促進とネットワーク化が必要となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,661	1,577	1,631	1,525	1,588			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特材								
	一般財源	1,661	1,577	1,631	1,525	1,588			

計画 (Plan)	
事業の目的	区内緑化活動団体へ花苗の支援を行うとともに、緑化促進に関する講座等を開催することで、区内の緑化推進及びコミュニティの醸成を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗等を提供します。 ●緑化活動団体の活動の活性化を図るため、緑化促進に関するガーデニング講座を開催します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●区内の活動団体に対して花苗の提供(32団体あて、11,277株)を行いました。 ●公園等を管理する団体の設立支援を行うことで、区のイメージアップと公園の地域管理の促進に貢献することができました。 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	成果指標	区内花壇管理団体に対する花苗支援数	目標	9,000	9,000			株	
				実績	12,651	11,277				
	2	成果指標	花苗等の支援を行っている緑化活動団体数	目標	35	35			団体	
				実績	36	32				
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域のつながりの希薄化や高齢化に伴い、コミュニティづくりに寄与する活動が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		新規花壇管理団体の育成支援について、一定期間広報した結果、これ以上の花壇作成希望者は現れない見込みであることから、新規花壇管理団体への支援を30年度を以って終了としました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域で緑化活動を行う市民活動団体は、財政基盤が弱いため、自主管理を進める上でも花苗提供支援の必要性は高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	花苗支援を希望する緑化活動団体は増加しており、区内の公園等の適正管理と緑化が進み、区のイメージアップにつながっていると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	市民との協働事業として実施しており、これ以上の役割分担の見直し、経費削減は難しいと考えます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	今後も継続した区内の公園の適正管理と緑化に向けて、活動団体への支援の継続は必要と考えます。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	10	まちづくり推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		吉川・滋野・渡利	65354	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 「川崎市市民活動支援指針」や「宮前区まちづくりプラン」に基づき、行政主導ではなく区民主体のまちづくりを推進し、市民活動団体の活動が活性化するような環境を整備する必要があります。 区内で活動する市民や市民活動団体を「つなぐ・むすぶ・ひろげる」という中間支援機能を持った宮前区まちづくり協議会と協働して取り組むことで、市民活動団体を情報面、資金面等から支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ります。 							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		平成9年度		—					
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> 宮前区まちづくり協議会の持つ中間支援機能により、地域で活動する市民活動団体等のネットワーク化を推進し、市民活動の活性化や地域の人材育成を図ることができます。また、地域が抱える課題解決にも取り組むことにより、区民主体のまちづくりを推進することができます。行政と協働のまちづくりに貢献しています。 課題として、まちづくり協議会構成委員・メンバーの高齢化による世代交代と後継者育成が必要です。 社会状況の変化によって地域が抱える課題も変わるため、区民自身がより主体的にその解決に向けて取り組む必要があります。 							
予決算 (単位:千円)		H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額		決算額		予算額		決算額	
事業費		4,050		3,846		4,054		3,739	
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源		4,050		3,846		4,054	

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 区民主体の組織であるまちづくり協議会が市民活動の場や運営資金の提供、情報発信等の支援を実施することにより、区内市民活動団体の活動が活性化され、地域のまちづくりを推進しています。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動の活性化を図るため、行政と連携・協働した事業を展開します。 区役所主催事業等への参画により、市民との協働のまちづくりを推進します。 地域に対する意識向上や魅力発見、まちづくりへの理解を深めるため、各種イベントや講座を開催します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成		4. 目標を下回った			
				2. 目標を上回って達成		5. 目標を大きく下回った			
				3. ほぼ目標どおり					
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> 20の市民活動団体の育成を目的とした資金支援を実施しました。 まちづくり広報紙の全6回の発行しました。 スキルアップ研修の実施(2回)と団体間の交流の場の提供(2回)による活動の活性化等を図りました。 区内市民活動団体の活動発表の場として、まちづくり広場ラブリみやまを2月に開催しました。 							
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指標		H30年度		R01年度	
						R02年度		R03年度	
						単位			
		1 活動指標		広報紙「まちづくり広場」の発行		目標 6		6	
						実績 6		6	
		2 活動指標		まちづくり広場ラブリみやまの開催		目標 1		1	
						実績 1		1	
		3 成果指標		資金支援交付団体数		目標 20		20	
						実績 21		20	
		4				目標			
						実績			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		社会環境の変化に伴い、団体事務の適正化を図りました。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		<ul style="list-style-type: none"> 委託事業を一部見直し、補助金を設置しました。 組織と事業の見直しを行い、広報紙の内容と発行回数を変更しました。 	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない	a
	評価の理由	区内市民活動の活性化のため、まちづくり協議会を通じた市民活動団体への情報や資金提供などの中間支援は必要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている	a
	評価の理由	新たな市民活動団体を支え、地域課題の解決につながる情報発信や資金支援などの活動を行なっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない	b
	評価の理由	団体組織の改革に併せて、事業の見直しも検討課題となっており、経費支出の改善につながる努力は続けていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	方向性	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了
	II	今後も、まちづくり協議会を通して、環境の変化に合わせた市民活動の活性化に係る場や資金の提供、情報発信等の支援を実施することが必要と考えます。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	15	まちづくり支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		吉川	65354	

事業の概要										
事業の概要		地域にとらわれない外部の立場からの提案や助言及び情報提供等は、区民との協働のまちづくりを推進していく上で必要不可欠であり、区民主体の組織である宮前区まちづくり協議会の活動が効率的・効果的になるよう側面から支援していきます。								
実施期間		事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費					
		平成20年度	—							
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●適正かつ円滑な組織運営や会議進行等のための助言・提案等を受けることで、区民主体のまちづくりの推進につなげることが可能となります。また、区内で活動する市民活動団体に対し、効果的な情報発信や交流促進の方法、後継者育成等の課題解決に役立つ情報やアドバイスを専門の見地から提供していくことが可能となります。 ●まちづくり協議会委員・メンバーの構成、年齢、経験等を踏まえた、協議会活動の継続性や、まちづくりに係る状況変化に対応した、適切なコンサルティングが求められています。 								
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	3,048	3,047	3,104	3,102	4,302			
		国庫支出金								
		市債								
その他特材 一般財源		3,048	3,047	3,104	3,102	4,302				

計画 (Plan)	
事業の目的	●市民活動団体の相談対応、活動を発展させる情報、ノウハウの提供等ができる事業者にコンサルティング業務を委託することで、宮前区まちづくり協議会の活動を側面から支援します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●中間支援機能を持つまちづくり協議会が円滑に活動できるよう適切なコンサルティング業務を行います。 ●まちづくり協議会の各部会等の会議、イベント等の運営支援を行います。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	年間約50回の会議に参画し、企画支援、市民活動の活性化のためのノウハウ・資料の提供、行政への助言の他、チラシ、ポスター作成支援など、まちづくり協議会の適正な活動につながる支援を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
	4	目標						
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	中間支援組織としての「まちづくり協議会」の活動と、市民活動団体個々への資金支援や発表の場の提供のためには、専門的なノウハウと情報が必要となっています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	まちづくりに関わる活動の内、コンサルティングに関わる活動を圧縮して経費削減に努めました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多様な市民活動団体に対して求められる支援策は絶えず変化しており、まちづくり協議会の適正な中間支援機能を支えるためには、専門家による助言や情報提供、運営支援は必要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	専門家による助言や情報提供、運営支援により、多様な市民活動団体に対して、まちづくり協議会による効果的な支援がなされていると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	社会環境の変化を踏まえ、実施手法などを検討していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
まちづくり協議会の適正な組織運営や会議進行、団体支援等につながる助言や提案、情報提供等を得ることで、区内の地域活動の活性化が図られているものと考えます。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	20	みやまえスポーツふえすていばる開催事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		加藤	65351	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●地域で行われているソフトボール、バレーボールやドッジビー等のスポーツ大会を企画し、実施することで競技レベルの向上を図るとともに、チームを越えた区民同士の親睦の場を創出していきます。 ●地域スポーツを促進し、区民がスポーツに触れる機会の拡充を図るために、自主的に行われているスポーツ大会を区長賞の贈呈により支援していきます。 							
実施期間		事業開始年度 平成3年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
地域の課題と現状		地域で支え合うまちづくりは、非常に重要ですが、区民同士が知り合いになる機会が不足しているため、スポーツを通じて、区民同士が交流できる機会を創出し、地域の活性化やコミュニティを形成していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,003	1,815	1,979	1,819	1,956			
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2,003	1,815	1,979	1,819	1,956			

計画 (Plan)	
事業の目的	スポーツに親しみ、楽しむことは、体を動かすことによる爽快感だけでなく、健康・体力の維持増進や人と人との地域における一体感をもたらす効果を期待することができます。地域でのスポーツ大会を地域が主体的に企画・運営することで、スポーツを通して区民同士が交流を深めスポーツ等に親しむ機会をつくり、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	女子バレーボール大会(宮前区・宮前地区・向丘地区)、ソフトボール大会(宮前地区・向丘地区)、ドッジビー大会(宮前区・宮前地区・向丘地区)、歩こう会(宮前地区・向丘地区)、ディスカバーウォークみやまえ(宮前地区・向丘地区)、区長賞贈呈、AED貸借

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		目標どおり達成できました。 今年度の宮前地区ディスカバーウォーク及び向丘地区歩こう会が新型コロナウイルスの影響により中止となったため、全体の参加者数が目標値より減少しています。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	全参加者	目標	1,500	1,500				人
				実績	1414	1220				
	2			目標						
				実績						
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子どもが外で遊ぶ機会の減少。また新型コロナウイルスの影響による、地域コミュニティの減少。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直直)平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載		事業内容について見直しを行ったところ、フットサルは認知度が高くなっており、自主的に開催される大会も増加していることから、平成28年度まで開催していた宮前区ジュニアフットサル大会を廃止し、平成29年度から新たに宮前・向丘両地区で実施されており、参加者数が年々増加している、ドッジビー大会の区大会を開催。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域コミュニティの希薄化が年々進んでいるため、ニーズは高いと思われます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各大会等でのアンケート調査で、高い評価をいただいているため、成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	委託団体と協議を行い、社会環境の変化に対応したスポーツ大会等を企画していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 各種大会において、継続して多くの参加者を集めており、事業目的は例年達成されています。今後も幅広い世代・地域の区民に参加してもらうため、参加募集の方法等を見直ししながら、事業を継続することが必要と考えます。(新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、感染拡大防止のための延期・中止等も含め、状況に応じて適切に実施していきます。)

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	25	多様な主体が参画する子どもあそびランド事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691750		まちづくり推進部生涯学習支援課		戒田	888-3911	

事業の概要									
事業の概要		遊びを通じて子どもと中高生・シニアなど世代間や多様な市民の交流を図るため、「夏休み子どもあそびランド」を実施する。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		平成23年度		—					
地域の課題と現状		多様化する地域課題の解決に向けて、遊びをキーワードにした世代間交流や多文化交流の場を提供することにより、多様な市民による、活性化した地域コミュニティを創造する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	580	559	595	593	595			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	560	559	595	593	595			

計画 (Plan)	
事業の目的	小学生・中学生・高校生・大学生・成人・高齢者・障がい者といった多様な市民同士が交流する場の提供を目的とします。
今年度の事業の取組内容	イベントは、夏休みの最後の日曜日に市民館全館を使って開催し、日本に古くからある遊びや、缶バッジづくり、舞台での活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・8月18日に開催し、約3,300人が来場しました。 ・5月16日、6月26日、9月20日の計3回企画委員会を開催したほか、準備作業を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	来場者数	目標	3,000	3,000			人
				実績	3,300	3,300			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域におけるつながりづくりが求められており、幅広い年代の企画委員への参加の促進や、子どもたちに多彩な遊びを提供し、継承できる新たな若い世代の遊びの達人の発掘、養成が必要です。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和元年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		熱中症対策として、次の見直しを行いました。 ・市民広場で開催していた水遊びコーナーを、建物の日陰部分での氷により涼をとるコーナーへ変更しました。 ・市民広場の生活環境事業所のコーナーを日陰部分に移すとともに、短時間で参加できる内容へ変更しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	幅広い年代・多様な立場の市民が地域で交流することは、引き続き重要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	遊びの達人や学生ボランティアを新規に集めることで、新たな交流を生み出しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	企画運営委員会に委託する現在の方式が、区内の多様な人材の参加を得る上で望ましいと考えます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	引き続き、多様な人たちの交流の機会となるよう、内容や方法を工夫しながら事業を継続します。また、交流を広げ、地域コミュニティ創造の一助とするために、企画運営委員会や遊びの達人、サポーターの新たな人材を募集していきます。(新型コロナウイルス感染症の流行を受け、事業の目的や方向性を維持しつつ、「新しい生活様式」への対応等について、見直し・改善の上、継続していきます。)

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	35	市民活動支援拠点のネットワーク事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		滋野	65355	

事業の概要									
事業の概要		市民活動拠点を中心とした地域のコミュニティづくりを推進するとともに、市民活動団体の活動支援や、団体相互の交流促進を図るため、区民活動支援コーナー等の運営支援、情報発信を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費			
		平成22年	—						
地域の課題と現状		地域のコミュニティづくりを進めるにあたり、市民活動団体の活動は重要な役割を担っているが、活動場所の確保や情報の発信、他団体との連携において、その機会や情報が不足している状況にあります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	571	493	451	421	390			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	571	493	451	421	390			

計画 (Plan)	
事業の目的	市民活動の活性化のため、区役所、市民館及びこども文化センター等にある市民活動拠点の周知や、活用の促進を図るとともに、施設機能面での充実も進めていきます。
今年度の事業の取組内容	各支援コーナーに対し、印刷機器賃借料支出等の運営支援を行います。また、各支援コーナー等の利用率が横ばい傾向にある中、市民活動拠点の情報マップの配布等により、稼働率アップに向けた情報発信を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		市民活動の活性化のため、各支援コーナーに対して印刷機器賃借料支出など、適正な運営支援を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	宮前区役所区民活動支援コーナー登録団体数	目標	70	70			団体
				実績	73	69			
	2	成果指標	宮前区役所区民活動支援コーナー稼働率	目標	50	50			%
				実績	41	38			
	3	成果指標	向丘地区区民活動支援コーナー登録団体数	目標	40	40			団体
実績				41	41				
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題が複雑化していくなか、市民活動団体の重要性が増してきていることに伴い、活動場所や情報を提供する支援コーナーの必要性も増してきています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	各支援コーナーの会議室、印刷機等の利用団体は多く、ニーズは高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各支援コーナーの会議室、印刷機等の利用団体は多く、市民活動の活性化につながっていると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各支援コーナーの管理運営については区民主体で行っており、予算のほとんどが印刷機のリース代ですが、仕様の見直し(経費削減)に努めています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
市民活動の活性化には、印刷機などの活動資本や会議室など場の提供は必須であるため、今後も継続していく必要があると考えます。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	40	みんなの道路公園事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			696100		宮前区役所道路公園センター		窪井	75560	

事業の概要									
事業の概要		快適環境の維持向上を図ることにより、公園緑地が「地域の庭」として愛着を持って利用され続けることを目指します。 ・管理運営協議会、公園緑地、街路樹等の愛護会及び町内会自治会との協働による清掃活動 ・区内小学校の協力を得て、公園緑地内の樹木への小学生による樹名板の設置作業 ・汚損や破損をした園名板の計画的な更新							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		28年度	—						
地域の課題と現状		地域に対する意識の希薄化、区民の高齢化等により協働の担い手不足が進行しており、地域コミュニティの活性化、協働の推進及び協働の担い手の育成が必要となっています。 区内約220公園のうち80公園程度の園名板が汚損や破損をしており、その更新が必要となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	139	105	1,045	1,017	1,028			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	139	105	1,045	1,017	1,028			

計画 (Plan)	
事業の目的	公園のイメージアップに加え、愛護精神に基づく公園の管理活動の一層の推進を図ります。
今年度の事業の取組内容	公園の管理運営協議会、公園、街路樹等の愛護会及び町内会との協働による清掃活動。区内小学生による公園内の樹木への樹名板の設置作業。汚損している園名板の更新。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		8月17日、宮前美の森公園において、同公園愛護会との協働による清掃活動を実施しました。また、9月1日、北野川ふれあいの森公園において、区民ボランティア団体との清掃活動を実施し、後日、北野川ふれあいの森公園管理運営協議会を設立しました。10月26日、東高根森林公園において、向ヶ丘小学校の児童による樹名板の設置を行いました。土橋7丁目公園他4か所について、汚損している園名板の更新を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	区民との協働による清掃活動回数	目標	3	3	3	3	回	
			実績	3	2				
	2 成果指標	樹名板の取付参加者数	目標	20	20	20	20	人	
			実績	21	12				
	3 成果指標	汚損している園名板の更新数	目標		5	5	5	基	
実績				5					
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の身近な問題解決に向けた区民参加、協働による取組及び地域への愛着の醸成が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	協働の担い手不足が進行しており地域コミュニティの活性化策の推進が必要です。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	公園緑地の愛護団体が増加しました。また、樹名板設置の実施により公園や樹木への愛着が深まりました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	協働清掃及び樹名板設置事業については、職員2名のみで実施しており、人員の削減は困難です。園名板の更新については、看板の作成のみを業務委託し、設置工事は職員が行うことで、経費を抑えています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 今後も、区内の公園緑地における愛護団体や町内会等との協働清掃及び小学校の児童による樹名板の設置事業の実施、また、園名板の計画的な更新により、公園のイメージアップを図るとともに、愛護精神に基づく公園の管理活動の一層の推進を図ります。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	45	町内会・自治会加入促進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		丸山	65351	

事業の概要									
事業の概要		区内の町内会・自治会の加入促進活動を支援するため、町内会・自治会の役割やエリア図を掲載した「宮前区 町内会・自治会ガイドブック」を作成・配布します。 ガイドブックについては、町内会・自治会の加入促進活動の実態に即して活用しやすいものとなるよう、宮前区全町内・自治会連合会との意見交換を継続していきます。また、不動産業者や宮前区への転入者など、情報を必要としている方々に向けて、区ホームページでの公開や区民課での配布など、加入相談のきっかけとなるよう取り組んでいきます。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		平成28年度		—					
地域の課題と現状		町内会・自治会は、地域のコミュニティ形成における中心的な役割を担っており、高齢者や子どもの見守り活動、自主防災組織の設立・運営など、安心・安全なまちづくりを推進していく上で、非常に重要な役割を果たしています。一方、町内会・自治会役員の高齢化や担い手不足などが課題となっているほか、町内会・自治会への加入を負担と感じる世帯が増えるなど、市民のコミュニティに対する意識が変化してきています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	281	281	281	396	497			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	281	281	281	396	497			

計画 (Plan)	
事業の目的	地域コミュニティの活性化により、区民の誰もが心豊かに安全・安心な生活を送れるようにします。
今年度の事業の取組内容	宮前区全町内・自治会連合会との意見交換を踏まえて「町内会・自治会ガイドブック」を改訂(増刷)し、配布します。区内への転入者に向けた配布やホームページ等で公開するなどして、地域振興課への加入相談の連絡を促進します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		地域の情報を必要とする転入時というタイミングを捉えて、全ての転入者に「町内会・自治会ガイドブック」を配付することで、的確に町内会・自治会に関する情報を提供できるようにしました。また、今年度からインターネット上で町内会・自治会加入の手続きができるQRコードを紙面上に掲載し、電子媒体から加入の申請ができることを可能にしました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	町内会・自治会ガイドブックの作成	目標	12,000	10,000			部
				実績	12,000	10,000			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		少子高齢化が進む中で、地域での助け合い、子どもから高齢者を含めた多世代での支え合いは大切なものであると改めて見直されてきており、地域コミュニティの中核を担っている町内会・自治会の重要性も増えています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和2年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		本年度に実施した子育て世代へのヒアリング・アンケート調査結果をもとに、将来の地域活動の担い手である宮前区の子育て世代を新たにターゲットにおいた事業を適切に実施していくことで、町内会・自治会への加入促進を推進します。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	川崎市では地域包括ケアシステムを推進しており、少子高齢化が進む中で、地域での助け合い、支え合いは大切なものであると改めて見直されてきています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	全ての転入者に配布していることで、町内会・自治会に関する問い合わせも多く、一定程度の周知が図られています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	引き続き、町内会・自治会と連携しながら加入促進に努めてまいります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
	本年度に宮前区の子育て世代に向け実施した、ヒアリング及びアンケート調査結果をもとに、子育て世代が町内会・自治会活動への共感や地域に居場所を感じられるリーフレット等を作成し、イベント等で配布することで、町内会・自治会への加入促進事業を遂行していきます。	

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	50	区民祭開催経費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			松井	65111

事業の概要									
事業の概要		地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育んでいくため、誰もが気軽に参加できる、区民の手づくりによる区民祭を開催します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		昭和57年度		—					
地域の課題と現状		少子高齢化の進行、核家族や単身世帯の増加、隣近所との関係の希薄化などの課題に対し、身近な地域での助け合いや地域課題の解決に協働して取り組む必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	252	252	245	245	245			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特材								
	一般財源	252	252	245	245	245			

計画 (Plan)	
事業の目的	区民祭の開催を通して、地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育んでいきます。
今年度の事業の取組内容	区民がより親近感や達成感を感じることができる区民祭の実施に向けて、区民と区役所との協働により取り組みます。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		目標どおり達成できました。令和元年 10月20日に宮前区役所周辺で区民祭を盛大に開催しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	開催回数	目標	1	1	1	1	回
				実績	1	1			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和7年度または令和8年度に 現在の市民館・図書館が、鷲沼駅前に移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直直)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		平成26年度以降、会場を北部市場から宮前区役所及び宮前市民館に移し開催しています。宮前市民館・図書館、宮前区役所の移転に伴う区民祭の開催方法等について今後検討が必要となります。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民祭への参加希望や開催日に関する事前の問合せは多く、また当日は多世代の区民が集まることから、事業のニーズは高いと考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	多くの団体・個人が参加するとともに来場者に宮前区の魅力を発信することができていることから、成果があったと考えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区民や地域団体と協働し、活気あふれる区民祭として発展させるため、前年度の課題を検証し解決に向け、取り組んでいきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
令和3年度には第40回を迎え、歴史と伝統のある行事として区民に定着しています。また、多くの区民が交流の輪を広げ、活気あふれる故郷として発展している行事であることから、前年度の課題を検証し、見直しや改善を行いながら継続が望ましいと考えています。なお、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、感染症拡大防止のための中止も含め、状況に応じて適切に実施していきます。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	30	26	15	05	健康づくり支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695130		地域みまもり支援センター地域支援課		小林	65522	

事業の概要											
事業の概要		高齢者及び、比較的若い世代の健康づくりを支援するため、「宮前健康サポートブック こつこつ」を配布し、普及啓発を行っています。今後も引き続き健康づくりに関心を持ち、個人だけでなく、家族や地域ぐるみで健康づくりに取り組めるよう冊子を増刷し、普及啓発を行います。									
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域の輪・健康づくり事業					
		—	—								
地域の課題と現状		宮前区は高齢化の伸び率が高く、介護保険サービス利用者も年々増加しています。山坂が多いため、外出の機会が持ちにくく、閉じこもる高齢者が増えていることが予測されます。また、比較的若い世代の転入も多く、若い世代からの健康づくりが課題となっています。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
	事業費	296		181		131		96		165	
		財源内訳	国庫支出金								
市債											
その他特財 一般財源	296		181	131	96	165					

計画 (Plan)	
事業の目的	高齢者及び比較的若い世代の区民を対象に、健康づくりの普及啓発を行い、意識の醸成を行うとともに、個人及び地域の健康度の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	「宮前区健康サポートブック こつこつ」を増刷し、区民へ配布し、健康づくりについて普及啓発を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		「宮前区健康サポートブック こつこつ」を増刷し、区役所内の区民の目が届きやすい場所に配架したほか、健康づくり関連事業を実施する際に配布するなどして健康づくりについて普及啓発を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	活動指標	「認知症力フェマップ」の作成	目標	4,000				部	
				実績	4,000					
	2	活動指標	「宮前区健康サポートブック こつこつ」の作成	目標		5,000			部	
				実績		5,000				
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルスの出現に伴い、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策をこれまで以上に取り入れた生活様式を実践していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(次年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	新型コロナウイルスの出現に伴い、事業のニーズは高まっていると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	作成した冊子の配布が進んでいることから一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	発信する情報の更新や配布方法の見直し等による改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 健康に関する社会環境の変化に対応することが必要であると考えられることから、事業の目的や方向性は維持するものの、情報の更新や配布方法の見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられます。(新型コロナウイルス感染拡大防止のための事業の縮小や中止等が見込まれる中、そのような状況においても、事業の目的を達成できるような様々な手法を検討しながら取り組んでいきます。)

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	10	地域包括ケアシステム推進事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課			仙石	65512

事業の概要										
事業の概要		地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体と連携・情報共有する協働の取組を推進するとともに、区役所内各部署間の連携も強化し、地域包括ケアシステムを推進していきます。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域の輪・健康づくり事業				
		平成28年度	—							
地域の課題と現状		地域包括ケアシステムの推進にあたり、区民や区役所職員・関係団体の意識づくり、連携強化が必要となります。								
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費		3,285	2,397	3,173	1,926	3,233		
		財源内訳	国庫支出金							
		市債								
		その他特財								
		一般財源	3,285	2,397	3,173	1,926	3,233			

計画 (Plan)	
事業の目的	地域包括ケアシステムの推進に向けて、区民や区役所職員の意識醸成と関係団体の連携強化を図ります。
今年度の事業の取組内容	地域の集いの場や会議などに講師を派遣して地域の課題解決に向けたワークショップの開催支援など、地域包括ケアシステムの意識醸成と啓発を図ります。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	関係団体との連携により、圏域会議、地区社会福祉協議会、市営住宅、みやまえカフェ連絡会、地域のカフェなどに講師を派遣することにより、それぞれの団体のニーズに沿ったワークショップ・勉強会の開催を支援し、地域包括ケアシステムの意識の醸成を図りました。シンポジウムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	シンポジウムの開催	目標	1	1			
				実績	1	0			
	2	活動指標	ワークショップの開催	目標	2	2			
				実績	12	16			
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	急速な高齢化が進む中、誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体の取組とともに、主体間の緊密な連携が求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	行政主導でのワークショップ開催から、希望する団体へ随時講師を派遣する形に方法を見直したところ、団体のニーズに沿った内容の支援を数多く実施することができるようになりました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民の誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、今後も区内における地域包括ケアシステムの自助・互助に対する意識づくりや関係団体との連携が必要となるため、必要性は高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域づくりへの関心喚起・課題の共有・つながりづくりのきっかけとして、一定の成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係機関等と連携しながら、より効果的な支援方法等に関する検討を進めていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	より多くの関係機関や地域活動団体、区民の方々が多様な連携を進めて活動に主体的に取り組めるよう、地域情報などに基づき、地域のニーズや地域課題に対応した活動のきっかけづくりを支援できるよう啓発を強化しつつ、事業を継続することが適切であると考えられます。 (新型コロナウイルス感染症を踏まえ、ワークショップ等の対面での開催が必要な事業については、他の手法を検討するとともに、地域とのつながりが希薄にならないよう努めてまいります。)

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	15	しあわせを呼ぶコンサート開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		岸本	65358	

事業の概要									
事業の概要		ベートーベンの第九を原語で合唱したいというある障害者の方の想いを受けて、区内在住の音楽家と福祉施設関係者等の尽力により、平成12年に第1回のコンサートとして実現しました。以降、ボランティア団体や関係者の連携とともに市の音楽事業の推進ともタイアップして宮前区主催、市民館大ホールを使用し、第一部は合唱、第二部はプロによる演奏で、地域に暮らし集う方々の相互理解と交流を深め、バリアフリー社会の構築と障害者福祉の増進に寄与していきます。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域の輪・健康づくり事業	
		平成12年度		—					
地域の課題と現状		毎年、本コンサートの実施に向けて、宮前区内の障害者施設は、宮前区障害者施設・作業所等連絡会として連携して活動し、自立支援と社会参画の推進のため、障害者の活動支援に取り組んでいます。本年で第21回目となり、地域に広く定着した事業ですが、区役所、連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にしながら事業の安定的継続へ取り組んでいます。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2779	2759	3,281	3,061	2,769			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2779	2759	3,281	3,061	2,769			

計画 (Plan)	
事業の目的	宮前区の障害者福祉事業として、障害者の自立支援、社会参画の推進へ向け、障害者の音楽活動を紹介するとともに、社会参加の機会を提供していきます。また、地域に暮らし集う方々の交流と相互理解の場としてコンサート事業として開催し、自立支援・バリアフリーといった福祉の増進を図ります。
今年度の事業の取組内容	実行委員会による検討を重ねて、第一部:宮前区内の障害者施設・作業所の利用者の方々による合唱、第二部:一流の演奏家によるゲストステージとして構成し、併せて、市民館ロビーにおいて各施設での手作りの食品・作品等を展示販売し活動紹介を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		実行委員会による検討を重ねて、第一部:宮前区内の障害者施設・作業所の利用者の方々による合唱、第二部:一流の演奏家によるゲストステージとして構成し、併せて、市民館ロビーにおいて各施設での手作りの食品・作品等を展示販売し活動紹介を行い、合計約700人の来場者となりました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	コンサート参加者・来場者総数	目標	900	900				人
				実績	600	700				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		ノーマライゼーションの広がりの中で、区民をはじめ地域に暮らし集う方々の相互理解と交流を深め、バリアフリー社会の構築と障害者福祉の増進に向けて、音楽を愛する区民の賛同を受けて地域では定着したコンサート事業となっています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業の安定的継続へ向け、区役所・連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にするとともに、委託業務が円滑に行われるよう仕様書内容を精査しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	他に例を見ない宮前区独自の障害者福祉事業として実施してまいります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	合唱参加者、来場者ともに安定した実績を得ています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業の安定的継続へ向け、区役所及び実行委員会による連絡調整を適切に実施しながら事業を執行していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 宮前区の障害者福祉事業として、地域に広く定着しており、区役所及び実行委員会による連絡調整を適切に実施しながら、事業の安定的継続へ取り組んでいます。(新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、感染拡大防止のための延期・中止等も含め、状況に応じて適切に実施していきます。)		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	20	地域支援整備事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695130		地域みまもり支援センター地域支援課			曾我	65514

事業の概要

事業の概要		住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、行政のみでなく地域住民もそれぞれの役割を意識し、具体的な行動が取れるような地域支援体制の基盤整備を行う必要があります。そのためまず住民意識調査を実施し、その結果をもとに地域包括支援センター、町会・自治会、地区社協や民児協等の単位で啓発活動やワークショップを行いながら、住民の意識改革を推進し、地域包括ケアシステムの推進を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域の輪・健康づくり事業			
		平成29年度	—						
地域の課題と現状		地域活動やボランティア等に自発的、積極的に参加する区民も多く、サロン等の「集まりの場」も増加してきているが、若い世代との交流や新たな担い手の発掘が課題です。また、高齢化が顕著で活動の担い手が少なく、課題は多いものの住民間で共有化や検討することも困難な地区もあり、地域間で課題内容に大きな開きがあることも特徴です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	170	88	0	0	1,843			
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	170	88			1,843			

計画 (Plan)

事業の目的	聖マリアンナ医科大学、田園調布学園大学との三者協定を活用し、具体的な取組みでや活動で、区民の意識改革を進めることによって、地域包括ケアシステムを推進していきます。
今年度の事業の取組内容	29年度に実施した住民意識調査の結果をもとに、昨年度作成した啓発資料も活用しながら、地域住民や関係機関と地域の特性や課題を共有します。その上で、自らが出来る事について考える動機づけをします。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	平成29年度に実施したアンケート調査結果を各地域に還元するとともに、30年度に作成した災害時医療に関するポスターやチラシを配布し、地域包括ケアシステム(地域づくり)の意識向上に向けた啓発を行いました。年度末に企画した専門職対象の講演会は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言のため中止となりました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	目標					
		実績					
	2	目標					
		実績					
3	目標						
	実績						
4	目標						
	実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	新型コロナウイルス感染症予防のための「新しい生活様式」が必要とされ、地域でのつながりづくりや健康危機管理について、新しい手法での推進が求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(次年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症「新しい生活様式」における地域包括ケアシステムの推進が求められています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響下での地域づくりについて、三者協定の学識経験者と、次年度に向けて検討を行いました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	仕様の見直しなどによる経費削減の可能性がります。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	次年度は3者協定の取組評価を行うとともに、新型コロナウイルス感染症影響下の「新しい生活様式」での地域包括ケアシステムについて、住民及び地域の専門職と取組を推進します。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	05	子育て情報発信事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		長山	65512	

事業の概要										
事業の概要		宮前区内の子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安の軽減を図るために、さまざまな広報媒体を活用して、子育てを行う一人ひとりに必要な情報を分かりやすく丁寧に知らせることにより、区民同士が助け合い、安心して子育てができる環境を整備することを目的としています。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業					
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> 宮前区は0歳から14歳までの人口が7区中で最も多く、子育てに関する最新の情報を分かりやすく提供し、子育て世代の孤立感や育児不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える必要があります。 宮前区独自のWEB版「みやまえ子育てガイドとことこ」の他、市全体を対象とするかわさきアプリ及び川崎市地域包括ケアシステムポータルサイトなど、広報媒体が増加する状況で、効果的な広報を検討していく必要があります。 								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		事業費	3,071	1,661	1,425	1,877	1,468			
		財源内訳								
		国庫支出金								
	市債									
	その他特材			150	150	180				
	一般財源	3,071	1,661	1,275	1,727	1,288				

計画 (Plan)	
事業の目的	多様な広報媒体を活用することで、宮前区内の子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安の軽減を図ります。
今年度の事業の取組内容	①子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」の改訂及び増刷、②WEB版「みやまえ子育てガイドとことこ」の更新、③ソーシャルネットワークサービスのフェイスブック及びツイッターによる情報発信

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 4. 目標を下回った 2. 目標を上回って達成 5. 目標を大きく下回った 3. ほぼ目標どおり						
取組内容の実績等	①子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」の改訂及び増刷をし、7,000部発行しました。また、広告募集をし、冊子内に掲載することで新たな財源を確保しました。②ソーシャルネットワークサービスのフェイスブック及びツイッターによる情報発信をしました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」の改訂(発行数)	目標	3,000	7,000			部
				実績	3,000	7,000			
	2	成果指標	フェイスブックによる情報発信(フォロワー数)	目標	1,250	1,290			人
				実績	1,263	1,342			
	3	成果指標		目標					
実績									
4	成果指標		目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	情報発信の選択肢が多岐にわたるなか、より効果的な広報を検討していく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>	子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」を、子育て当事者、障害支援に携わる専門家、子育て中の外国人市民を含む公募の編集会議を立ち上げ、区民の意見を取り入れ大規模に改訂しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民の意見を反映した冊子は、子育て当事者から支援者まで幅広く活用されています。また、フェイスブック等の電子媒体は、いつでも閲覧でき、時宜にかなった効果的な広報ができるため、さらなる活用の可能性があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	子育てガイドは、子育て当事者の意見を大きく反映して改訂し、これまで以上に活用されるようになっていました。また、フェイスブックの閲覧数が増加し、多くの反響が得られるようになっていました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	情報誌に広告を掲載するなど、制作費用を軽減しながら作成していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		印刷物については、部数の適正化を図りつつ、適宜、内容の見直しを実施し、発行していきます。また、電子媒体については、各ツールの特性を生かしたさらなる活用を図ります。(新型コロナウイルス感染症を踏まえ、作業スケジュールについて検討を進めていきます。)

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	10	宮前区子育て支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		地域みまもり支援センター保育所等・地域連携担当		坂内	65706	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援拠点の充実を図り、育児力の向上と孤立化を防ぐための仲間づくりを目的として、公営保育所が中心となり、区内民間保育所や地域の人材、関係機関と連携を図り、子育て支援事業を展開します。 地域みまもり支援センターにおける連携の中で、必要な情報を共有し、地域の子育て家庭への支援体制の強化を図ります。 区内保育所全体の保育の充実を目的に、連携会議や課題を捉えた研修の実施とともに、訪問による支援を行い、増加する民間保育所の保育の質の維持・向上を図ります。 令和元年度から子育て支援、公民の連携、人材育成研修等の実施については、公立保育所や保育・子育て総合支援センターが担う民間支援や人材育成の役割として全市で横断的に実施していくため、こども未来局の「公立保育所運営事業」において取組を実施します。 							
実施期間		事業開始年度 平成19年度		事業終了年度 —		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費	
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の転入者が多く、0～2歳児の在宅での子育ての割合が高い中、子育てに関する相談が増加していることから、育児への不安や孤立感を抱きながら子育てをしている家庭が多いことがうかがえ、在宅の子育て家庭にむけた子育て支援事業の充実を図る必要があります。さらにどの地域にも支援が行き届くような更なる仕組みづくりが課題であることから、子育て支援拠点の充実を図ることが求められます。 民間保育所が急増し、経験の少ない保育士が増加していることから、人材育成が喫緊の課題となっています。 							
予決算 (単位:千円)		H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		事業費		491		431		491	
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源		491		431		491	

計画 (Plan)	
事業の目的	・安心して子育てができる環境づくり、子育てを支援する体制づくり、こどもが健やかに育つ環境づくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 公営地域子育て支援センター等を活用した子育て支援事業の実施。(食育講座、保育連続講座「親と子の子育て応援セミナー」、公営地域子育て支援センター土曜開所など) 公営・民間保育所連携事業の実施(保育士、栄養士、看護師などの専門職を含む連携会議や研修の開催)

実施結果 (Do)															
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症の影響のため食育講座1回を中止しましたが、ほぼ目標どおり達成できました。 公民連絡会議 33回開催、参加人数1137名。 公民保育所人材育成のための出張講座 参加園数102園、参加人数492名													
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指標		H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		単位	
		1 活動指標		「親と子の子育て応援セミナー」		目標 9		11						回	
				実績 9				11						回	
		2 活動指標		食育講座「にこにこもぐもぐ」		目標 15		17						回	
				実績 17				16						回	
		3 活動指標		公営・民間保育所連携会議		目標 35		33						回	
				実績 35				33						回	
		4 活動指標		公営・民間保育所人材育成		目標 70		80						回	
				実績 87				102						回	

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域における育児力の低下に伴う子育て家庭への支援の強化。また、民間保育所の増加に伴う保育の質の確保が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		「新たな公立保育所の機能(地域の子ども・子育て支援、民間保育所等への支援、公・民保育所人材育成)」の推進にむけて、予算を増額しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	継続的な民間保育所の増加や、子育て支援事業へのニーズが引き続き高いことから、事業の必要性は高いと考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	参加者の増加など、ニーズの高さが数値から読み取れることから、成果が上がっていると考えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	地域や各保育施設のニーズを、日々の状況や活動等により適格に捉えた企画の立案や実施、公営保育所の専門性を活かした事業であることから、委託等は適さないと考えます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
・子育て支援事業は、民間保育所との更なる連携強化により、引き続き子育て支援事業の拡充を図ります。(新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適切に対応していきます。) ・子育て支援、公民保育所等の連携、人材育成研修の実施について、公立保育所や保育・子育て総合支援センターが担う民間保育所支援や人材育成の役割として全市で積極的に実施をしていくため、令和元年度よりこども未来局の「公立保育所連携事業費」において取組を実施しました。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	15	子ども支援ネットワーク事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		野村	65513	

事業の概要									
事業の概要		子どもたちの健やかな成長を支え、区における子育て支援を地域社会全体で推進していくため、地域の関係者が連携して情報共有及び意見交換を行い、乳幼児期から青年期までの子どもたちへの連続した支援体制として、子ども支援に関わるネットワーク会議等を開催しています。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業			
		—	—						
地域の課題と現状		宮前区は地形的に山坂が多く交通の利便性が悪いため、子育て支援サービスの提供を受けにくい地域があります。また、7区中0歳から14歳までの子どもや子育て世代の転入者が多いことから、子育ての孤立化や慣れない生活環境での育児不安の軽減など、安心して子育てができる環境の整備が必要となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	401	303	218	121	225			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特材								
	一般財源	401	303	218	121	225			

計画 (Plan)	
事業の目的	区における子育てを地域社会全体で支えるために、地域の関係者が連携し、様々な子どもの問題を解決・改善するために、関係機関・団体間の情報共有やネットワークの強化を図ります。
今年度の事業の取組内容	宮前区子ども・子育てネットワーク会議等を開催して、情報共有及びネットワークの強化を行い、協働して子育てグループ交流会及び転入者のための交流会(うえるかむクラス)事業に取り組みます。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		・宮前区子ども・子育てネットワーク会議7月30日開催(新型コロナウイルス感染症の影響により、第2回会議は中止) ・子育て支援関係者連絡会 年6回開催 ・子育てグループ交流会5月27日開催 ・うえるかむクラス6月14日、21日、28日開催								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	活動指標	宮前区子ども・子育てネットワーク会議の開催	目標	2	2			回	
				実績	2	1				
	2	成果指標	子育てグループ交流会	目標	30	30			人	
				実績	17	16				
	3	成果指標	転入者のための交流会(うえるかむクラス)	目標	100	100			人	
実績				154	176					
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子育て世代の転入者増加に伴い、出合いの場の確保が継続に必要と考えられます。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		イベントを事務局と一部の実務団体のみで担っている執行体制の見直し及び広報の見直しを実施しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子どもを取り巻く環境が日々変化する社会環境において、事業のニーズは高いと考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	子育てグループ交流会の参加数は目標に達していないものの、子育て世代がつながる機会を確保することにより、グループ同士の情報共有が図れており、事業の有効性はあると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	開催方法及び広報について見直し、事業を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 子育て関係団体の更なる連携強化や、地域とのつながりを求める子育て世帯のニーズに合ったイベント運営が必要のため、事業の目的及び実施方法の改善を図りながら、事業を継続していくことが望ましいと考えます。 (新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、各子育てグループの活動状況を把握するとともに、関係団体に情報を発信し、子育て世代の方々に必要な支援を行っていきます。)		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	20	子ども包括支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		地域みまもり支援センター学校・地域連携担当		菊地	65703	

事業の概要

事業の概要		「こどもサポート南野川」では、不登校・引きこもりなどの課題を持った子供たちと保護者の居場所づくりや生活・進路指導など、子育て支援の拠点として、就学児童から18歳までの子どもとその保護者を対象とした子育て支援を行っています。							
実施期間		事業開始年度 平成21年度		事業終了年度 —		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業	
地域の課題と現状		今後も、地域包括ケアシステムの中で、当該事業が果たすべき役割や運用体系について、関係局、機関及び地域等と協議・調整をしながら、確立していく必要があります。 子どもたちが持つ課題は、多岐にわたり複雑で深刻なものも多く、これらに対応するために「地域みまもり支援センター」内の専門職、関連部署による協力体制の充実など、一層の連携強化が求められます。							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	5,639	5,586	5,813	5,754	5,858			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特材								
	一般財源	5,639	5,586	5,813	5,754	5,858			

計画 (Plan)

事業の目的	子どもの成長に合わせたトータルサポートの実現や、課題を持つ子どもたちへのきめ細やかな対応による不登校・引きこもり状態の長期化の予防などを地域社会の課題として捉え、行政、地域、関係機関が連携して問題解決を目指します。
今年度の事業の取組内容	課題を持つ子どもたちの居場所づくり、生活・学習支援を業務委託により実施します。 生活・学習支援(常時)、相談業務(常時)、運営会議(年2回)、情報交換会(年2回)、見学会、学校担当者会(各年1回)

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 学校担当者会1回、学校との情報交換会2回、保護者の会として「進路について考える会」や個別相談を実施 各教科の学習指導、理科教室、進路学習等実施 農作業や体験学習、ふれあい活動の実施 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	運営会議	目標	2	2		
				実績	2	2		
	2	活動指標	情報交換会	目標	2	2		
				実績	2	3		
	3	成果指標	こどもサポート南野川利用人数 (不登校支援に係る小・中・高校生延べ利用人数)	目標	1300	1300		
実績				1507	2286			
4			目標					
			実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	不登校は、学校における友人関係や学業不振等のほか、本人の不安・抑うつ傾向、家庭の問題等、学校以外の要因が絡み合って多様化し、増加傾向にあります。その背景が多様・複雑であることから、児童相談所、医療機関等の関係機関と連携し、家庭の状況や本人の気質等を把握した上で、適切な支援を行う必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	所管課を地域ケア推進担当から学校・地域連携担当に変更し、学校との情報共有と連携の一層の強化を図ることで、不登校になった児童生徒へのよりきめ細やかな対応や支援を行えるようになりました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	利用者数・相談者数共に増加傾向であり、事業ニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	利用者数・相談者数共に増加傾向であり、また、多方面からの問い合わせや見学依頼も増加していることから一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていきます。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	不登校等の子どもが抱えている問題は、多様化・深刻化する傾向にあり、様々な悩みを抱える児童生徒一人一人に対して、きめ細かく対応する必要があることから事業の目的や方向性を維持したまま、学校や関係機関と連携を強化しながら継続することが適切であるとされます。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	25	子ども自然探検隊事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		仙石	65512	

事業の概要										
事業の概要		宮前区内に残された自然の中で自然観察、森・里山遊び、農作業等を体験する機会を作り、自然に関心を持ち、自然に親しみ、自然を大切に育つ気持ちを育てます。また、その自然を守り育む活動をしている大人たちと交流することにより、地域社会の世代を超えた人と人との連帯感の醸成を図り、将来的な地域コミュニティの活性化につなげます。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業				
		—	—							
地域の課題と現状		事業実施にあたっては、子どもたちが安全に参加できるよう、地域の自然や地理・地形に精通し、子どもたちへ、これらの豊富な指導経験を持つスタッフによる対応が不可欠です。今後は、プログラムの更なる充実に向け、これまでの成果を踏まえ、自然を利用した活動を行う他の事業及び地域団体との連携に関して検討が必要です。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	103	89	162	60	129				
財源内訳	国庫支出金									
	市債									
	その他特財 一般財源	103	89	162	60	129				

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の自然環境を利用した森・里山遊び等によりとった自然と触れ合うことで、自然を大切に育つ心を持って、自然保護活動に携わる大人たちとの交流の機会を持ち、将来的な地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	生田緑地内のとんもり谷戸を活用し、森遊びや森探検をプログラムとした自然体験イベントを開催します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		定員を超える予約があり抽選となりましたが、生田緑地内のとんもり谷戸を活用した森遊びや環境学習をプログラムとした自然体験イベントを大きな混乱もなく実施できました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	自然探検隊の実施	目標	3	4				回
				実績	3	1				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		子どもの外遊びの機会が減少傾向にあるなかで、区内の自然を活かした貴重な体験の場となっています。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和元年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		地域包括ケアシステムの推進につながる効果を見極めつつ、実施方法を委託形式から講師を招いての自主運営方式に変更するとともに、実施回数や開催場所等について、見直しを行っています。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	子どもの外遊びの機会が減少傾向にあるなかで、区内の自然を活かした貴重な体験の場となっています。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	参加希望者は定員を上回る申し込みがあります。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	プログラムの更なる充実に向け、これまでの成果を踏まえ、他事業との連携について、検討の余地があります。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地域包括ケアシステムの推進につながる効果を見極めつつ、プログラムの更なる充実に向け、これまでの成果を踏まえ、自然を利用した活動を行う他の事業及び地域団体との連携を検討していきます。 (新型コロナウイルス感染症を踏まえ、参加者同士の距離、募集人数、開催日などプログラムについて、地域団体と開催できるよう検討してまいります。)

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	30	友好都市交流事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		蔡	65351	

事業の概要									
事業の概要		平成8年度から開始した長野県佐久市との友好都市交流事業は、宮前区の子どもたちに、長野県佐久市での自然体験を通じて里山の保全や都市農業の重要性などを学んでもらうことを目的としています。体験研修のプログラム作りや、引率などを主体的に行うことができる市民活動団体に事業を委託しています。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業			
		—	—						
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区には比較的多量のある緑が存在しているものの、全市的には樹林地や農地は減少傾向にあり、子どもたちが自然体験や農業体験をすることを通じて、将来に向けて里山や都市農業などの保全について理解を深めてもらう必要があります。 ●佐久市との友好都市締結から15年以上が経過し、両都市の置かれた状況も変化しています。 							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	487	456	485	457	485			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	487	456	485	457	485			

計画 (Plan)	
事業の目的	交流を進めることで、両都市の友好関係を深めると共に、宮前区の魅力である豊かな自然や観光資源などについて再認識してもらい、地域への愛着を通じて更なる魅力づくりにつなげてもらえるようにします。
今年度の事業の取組内容	民間交流事業(子ども自然交流事業)として、長野県佐久市での自然体験・農業体験等を実施します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		友好都市である佐久市での子ども自然交流事業の実施を通じて、宮前区の魅力である豊かな自然や都市農業などの魅力について再認識してもらうことができました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1		目標						
			実績						
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
実績									
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		都市における公園やオープンスペースの防災面での役割や、緑の保全や都市農業に対する関心は一層強くなっており、引き続き友好交流を通じた取組の必要性があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		物産観光交流事業を宮前区民祭実行委員会の事業として実施することになりました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	宮前区の魅力である豊かな自然や都市農業に対する関心は近年高まってきており、友好都市での自然体験のニーズに変化はないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	本事業は区内で活動する市民活動団体に委託して実施しており、交流の積み重ねによる活動の広がりや宮前区での活動への効果などが上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業の実施方法変更等により、引き続き経費削減に取り組んでいきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
子ども自然交流事業の実施に当たって、参加者の増加に向けて広報を拡充していきます。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	35	冒険遊び場活動支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		仙石	65513	

事業の概要

事業の概要		思いきり遊ぶことのできる外遊びの環境を確保するため、現在では6団体が実施団体登録をし、地域において公園というオープンスペースを活用し、定期的に遊ぶことができる場を提供しています。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業	
		—		—					
地域の課題と現状		<p>・現代の子どもたちは自由に遊べる空間が不足しており、公園などを活用し、地域住民が主体となって行う「冒険あそび場」活動を支援することにより、地域コミュニティの更なる活性化と次世代育成の場づくりを推進する必要があります。</p> <p>・公園を地域コミュニティの拠点として機能させるには、乳幼児からシニア世代まで幅広い年齢層の多くの人が、気兼ねなく集い利用してもらえる工夫が必要です。</p>							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		701	681	606	591	600	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	701	681	606	591	600			

計画 (Plan)

事業の目的	子どもたちが思いきり遊ぶことのできる外遊びの環境の確保及び小地域での多世代交流が期待できる事業を推進することで、地域コミュニティの活性化につなげていきます。
今年度の事業の取組内容	必要な遊具や物品の貸出、月1回のネットワーク会議の開催等の地域主体の活動支援、普及啓発のためのシンポジウムの開催及び広報用リーフレットの配布をします。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	登録されている6団体が各公園で定期的に冒険遊び場を開催し、多世代交流の場として活動を行いました。また、出張冒険遊び場を4回、シンポジウムを1回開催するとともに、広報資料として作成したリーフレットを関係機関に配布するなど、普及啓発に関する活動を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	冒険遊び場活動団体のネットワークへの登録団体数	目標	6	6		
				実績	6	6		
	2	活動指標	ネットワーク会議の開催	目標	12	12		
				実績	12	12		
3	活動指標	シンポジウムの開催支援	目標	1	1			
			実績	1	1			
4			目標					
			実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	子どもたちの成長や地域コミュニティの活性化の果たす役割など、その成果について地域住民等から一定の理解が得られていますが、多世代交流の場として、より一層の普及が求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	出張冒険遊び場として活動していた公園が、正式に登録団体として活動を始めたので、新たな公園での出張冒険遊び場開催に向けて取り組んでいます。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	公園の利用活性化を促し、子どもの育ちを支援する活動に貢献しており、事業のニーズが高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	継続的な活動及びシンポジウム等の開催により、コミュニティの活性化にも繋がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	冒険遊び場の実績とノウハウを持つ区内の市民団体に支援事業の委託を行っており、民間事業者への委託では得られない高い効果を最低限の経費で実現しています。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	幅広い世代の憩いの場として公園の活用が進むなかで、子どもの自由な発想や遊びを支援できるよう必要な改善や見直しを進め、地域の理解を得ながら継続していくことが望ましいと考えられます。 (新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、今後の活動再開に向け、注意すべき点などを関係団体で検討し、情報共有していきます。)

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称	
款	項	目	大	中	小		
11	01	06	26	25	05	安全安心まちづくり推進事業費	
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先
			690000	危機管理担当		栗野	65352

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●安全安心に関わる様々な分野の団体が構成される「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、区民、地縁団体、事業者、行政機関などの連携・協働により、それぞれの対策を推進し、区民の暮らしやすい環境づくりに取り組みます。 ●パトロール用資機材の貸与や落書き消し用品の提供を行い、地域の活動を支援します。 ●要望の多い、通学路等における交通安全対策として、啓発看板等の掲出等を行います。 ●「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」や「市安全・安心まちづくり推進計画」を基に、宮前区安全・安心まちづくり推進協議会と協働し推進します。 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		地域での結びつきが希薄になっていく中、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を浸透させ、地域内の結びつきを強くするとともに、地域での活動の推進を図り、安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		事業費	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		1,695	1,580	1,846	1,713	1,845			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,695	1,580	1,846	1,713	1,845			

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●区民誰もが安全で安心して暮らせるまちを形成していきます。 ●地域防犯活動を支援するため、地域の自発的な活動を支援します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防犯活動への支援 ●地域パトロールや落書き消し等の支援 ●通学路を中心とした啓発看板の掲出等による交通安全対策の推進 ●啓発看板等の維持管理 ●中学生を対象としたスケアードストレート方式交通安全教室の実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	スケアードストレート方式交通安全教室は目標どおり3校で実施しました。また、保育園、幼稚園及び小学校における交通安全教室は目標を超えて79件実施しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	スケアードストレート方式交通安全教室の実施	目標	3	3	3	3	件	
			実績	3	3				
	2 成果指標	保育園・幼稚園及び小学校における交通安全教室の実施	目標	75	75	75	75	件	
			実績	76	79				
3		目標							
4		目標							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	未成年が加害者になる自転車死亡事故も発生しており、より継続的な交通安全教育が求められています。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 30 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	スケアードストレート方式交通安全教室を平成27年度より導入し、3か年で区内全8中学校を実施しました。また、平成30年度から始まる新たなサイクルに県立川崎北高校を加え、対象を拡大して実施しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高齢者の引き起こす交通事故の発生や、振り込み詐欺などの特殊詐欺において社会情勢に応じた新たな手口の犯罪が発生しているため、ニーズが増えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	実施の目標に対して順調に処理しています。また、スケアードストレート方式の交通安全教室で実施したアンケートにて、高い有効性が認められています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係団体、委託団体等とより連携し、効率性を上げていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	15	防災意識普及啓発事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		森山	65361	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●各種の防災意識普及啓発行動(防災ニュースの発行、防災フェアの実施等)を行い、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。 ●地域で防災活動の中心となる地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員の更なる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施することにより、地域の防災力向上に繋げていきます。 							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費	
		平成20年度		—					
地域の課題と現状		大規模災害発生時の被害を最小限に抑えるため、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせ、防災意識を向上させる取り組みを進めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,512	2,216	2,405	1,748	2,265			
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2,512	2,216	2,405	1,748	2,265			

計画 (Plan)	
事業の目的	●区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	●防災ニュースの発行(年3回)。また、地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施。さらに防災フェアを春の火災予防運動・消防記念日に合わせて実施。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●防災ニュースは目標どおりの発行を行いました。 ●防災フェアは開催に向けて準備をしましたが、新型コロナウイルス感染症対策として中止としました。 ●防災推進員は新たに32人の登録があり、目標を超えて達成することができました。 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	活動指標	防災ニュースの発行部数(年3回)	目標	30,000	30,000	30,000	30,000	部	
				実績	30,000	30,000				
	2	活動指標	防災フェア参加人数	目標	600	600	600	600	人	
				実績	600	0				
	3	成果指標	宮前区防災推進員登録者数	目標	540	580	620	660	人	
実績				565	597					
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		例年、震災害、風水害による被害が全国的に発生しており、防災及び減災に関する知識の普及啓発が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和2年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		9月に開催されたご近所ピクニックが盛況に終わったことから、防災フェアを共同開催とすることを検討していきます。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	例年、災害が発生していることから、ニーズが高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	防災推進員が自治会等で防災担当を担うことで、自治会単位での防災力の向上を図ることができています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	改善を行ってきた結果として現状の取り組みとなってきたことから、事務改善の可能性はないと考えています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 防災フェアについて、平成31年度のご近所ピクニックの成果を熟考し、共同開催することで効果の増幅を狙うなど、効果的な啓発や集客できる工夫について、協力団体と協議、検討していきます。(新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、感染拡大防止のための延期・中止も含め、状況に応じて適切に実施していきます。)		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	20	地域防災力向上事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		森山	65361	

事業の概要										
事業の概要		<p>●宮前区の防災力向上に向け、防災に関する必要な事項を検討し、情報の共有化を図るため、宮前区を管轄する公共公益機関及び関係団体等を構成員とする宮前区地域防災連絡会議における検討を進めます。所掌事項は、宮前区地域防災計画に関すること、地域防災力向上に向けた各種取組と連携に関すること及び地域防災力向上に向けた情報共有等を推進します。</p> <p>●大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部署での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指して事業を進めます。9か年の計画により、各避難所に必要な備品を配備します。</p>								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費		
		平成24年度		—						
地域の課題と現状		<p>公共公益機関及び関係団体を構成員とする宮前区地域防災連絡会議において、各機関の担当が代わることにより、取り組みや連携の強化、向上を行っていく必要があります。</p> <p>避難所滞在環境改善のため、必要な備品の配備が必要となります。</p>								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
	その他特材									
	一般財源	1,450	1,254	1,528	1,300	3,632				

計画 (Plan)	
事業の目的	●区内関係機関・事業者・地域団体等で構成される宮前区地域防災連絡会議及び各部署における課題の検証と検討を行い、地域防災力を向上します。
今年度の事業の取組内容	●避難所滞在環境改善のための「避難所備蓄エアマット」を配備します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	4 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等	石油価格の高騰によりエアマットの仕入れ価格が上がったことにより、当初の予定価格で発注することができませんでした。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	避難所備蓄エアマット整備箇所数(全25箇所、3年計画)	目標	11	11	11	11	箇所	
				実績	9	10				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高齢化が進んでいること、要配慮者が避難所で滞在することが考えられることから、少しでも避難所環境を改善しようという動きが起きています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)令和元年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		9か年計画で配備していたエアマットが計画通りに配備できていなかったことから、予算額を増額計上し対応しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高齢化や要配慮者等への対応として、避難所環境の改善を目的とした備品のニーズが増えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	防災訓練等でエアマットの展示、体験を行ったとき、参加者からは環境改善にとっても良いと喜びの声を頂いています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	石油価格に左右されるため、改善の可能性はありません。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 価格の推移に注意して、継続してエアマットの整備を行います。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	25	次世代まちづくり事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		山田	65123	

事業の概要										
事業の概要		次世代につながる暮らしやすさの向上を意識した長期的な視点に立ち、地域住民・事業者・区役所との協働・連携により、宮前区の地域特性を踏まえた身近な生活課題の解決に寄与する地域主体の取組を支援します。								
実施期間		事業開始年度 平成27年度		事業終了年度 —		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業		
地域の課題と現状		地域を良くしたいと考える地域住民や地域貢献に意欲のある事業者等を区役所がつなぎ、それぞれの強みを活かした協働・連携を図ることにより、起伏に富んだ地形や高齢化の急速な進行といった宮前区の地域特性から生じる生活課題の解決につなげることが期待できます。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	0	0	0	0	0				
	財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0			
		市債	0	0	0	0	0			
その他特財 一般財源		0	0	0	0	0				

計画 (Plan)	
事業の目的	次世代につながる暮らしやすさの向上に資する地域主体の取組を支援します。
今年度の事業の取組内容	坂が多い地区等に住む高齢者等の日常の買い物をしやすくするとともに、地域住民の見守り・支え合いにつなげるため、町内会館・自治会館等で地域住民が企業の協力を得て行う出張販売会の開催に向けて、関係者間の合意形成を図ります。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		庁内の関係課、事業者、地域住民との連携により調整を重ね、関係者間の合意形成を図り、「市営高山団地集会所における住民主体の出張販売会」を毎週土曜日に実施しています。事業者との協議の上、令和元年11月末が期限であった協定を更新し、販売会を継続していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に休止しています。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	次世代につながる暮らしやすさの向上に資する取組の実現に向けて取り組んでいる地区の数	目標	1	1			
				実績	1	1			
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域住民・事業者・区役所との協働・連携により、それぞれの強みを活かして柔軟に課題解決を図る事業の特性を活かして、社会状況の変化に臨機応変に対応していきます。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和2年度から)	
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載</small>		平成29年度の予算執行を見送り、平成30年度以降は原則として予算措置を行わず、関係者間の丁寧な合意形成を図りながら、協働・連携によりそれぞれの強みを活かして実施する事業として整理しました。その結果、年度末までの予算執行にとられる必要がなくなり、調整状況に応じた柔軟なスケジュールで取り組めるようになっています。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	社会状況の変化に臨機応変に対応できる事業スキームであるため、ニーズは薄れないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	庁内の関係課、事業者、地域住民との調整により、1地域において、出張販売会の実施について関係者間の合意形成ができました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	予算措置のない事業であるため、契約方法や仕様の見直しなどによる経費節減の余地はありません。また、協働・連携の手法により、関係者間の丁寧な合意形成を行って進める事業のため、効率性の追求はなじまないと考えられます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地域の皆様から求められている取組であり、新型コロナウイルス感染症の影響下でも事業の継続が可能となるよう、検討が必要です。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	30	宮前区スポーツ環境整備事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部地域振興課			小林	65360

事業の概要									
事業の概要		西長沢公園多目的広場の除草、鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の補修を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業					
		平成24年度	—	安全・安心・快適まちづくり事業					
地域の課題と現状		屋外スポーツ施設の少ない宮前区では、より多くの区民がスポーツを楽しめる環境を整えるため、既存施設の補修・整備が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4568	4477	4,226	4,213	501			
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特材							
		一般財源	4568	4477	4,226	4,213	501		

計画 (Plan)	
事業の目的	西長沢公園多目的広場、鷺ヶ峰けやき公園多目的広場で区民が快適にスポーツを行えるよう環境整備を行います。
今年度の事業の取組内容	西長沢公園多目的広場の除草、鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の補修を行います。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	西長沢公園多目的広場の除草、鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の補修を行いました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1		目標				
			実績				
	2		目標				
			実績				
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		神奈川県内広域水道企業団が実施する耐震工事に伴い使用できなくなるため、新たな場所を探す必要があります。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	西長沢公園については、令和2年度から耐震補強工事が始まるため、ダスト舗装の必要はなくなります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	市民が安全にスポーツを行うことができているため、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	西長沢公園の耐震補強工事後は、道路公園センターに業務移管の予定です。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の保守については、引き続き必要と考えられます。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	05	区役所庁舎エコ化事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			大谷	65111

事業の概要									
事業の概要		庁舎の省エネルギー化(遮光遮熱フィルム設置及び照明設備のLED化)を推進することで、市民への省エネ意識を啓発するとともに、快適な庁舎利用及びサービス向上を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業			
		—	—						
地域の課題と現状		庁舎における節電対策が求められており、電力使用の大部分を占める照明について対策が必要となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,345	1,955	2,248	2,145	2,257			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特材								
	一般財源	2,345	1,955	2,248	2,145	2,257			

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者が省エネに関心を持っていただくのと同時に、より快適に庁舎を利用していただくようにします。
今年度の事業の取組内容	区役所外周の照明(外灯)設備をLED化します。 向丘出張所の蛍光灯をLED化します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		区役所1階ロビー(一部)2階、3階エレベーターホール及び区役所外周の照明(外灯)設備をLED化しました。 向丘出張所1階待合室の蛍光灯をLED化しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	照明設備のLED化(蛍光灯型)	目標	101	45			本
				実績	160	45			
	2	活動指標	照明設備のLED化(電球型)	目標		29			個
				実績		29			
3	活動指標	照明設備のLED化(外周水銀灯)	目標		28			個	
			実績		28				
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和7年度または令和8年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。その後、宮前区役所も移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		移転を踏まえ、適切に対応を行っていきます。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	庁舎の省エネルギー化を推進することで、市民に対し環境啓発を行うとともに、快適な庁舎利用サービス向上につながっていると考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区役所の消費電力は事業開始(平成22年度)から28%、昨年度から約1%削減されています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業の取組の見直し(LEDの仕様、施工場所の変更等)を行うことで、より効果的に事業を進められる可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
事業の取組の見直し(LEDの仕様、施工場所の変更等)を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えています。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	10	みやまえロビーコンサート開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		岸本	65358	

事業の概要									
事業の概要		毎月1回(年間12回)区役所2階ロビー等において、ランチタイムの時間帯(12:05~12:45)に「みやまえロビーコンサート」を開催します。年間12回のうち区役所以外の区内行政施設においては巡回コンサートとして開催します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業	
		平成5年度		—					
地域の課題と現状		市民にとって区役所等の行政施設は必要な各種手続き等を行う場所となっており、親しみも希薄な状況にあります。区役所に対するイメージアップを図り、区民の行政に対する意識や地域への関心等の向上へつなげてまいります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2960	2592	2,035	1,694	1,985			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2960	2592	2,035	1,694	1,985			

計画 (Plan)	
事業の目的	上に区役所来庁者の事務手続き待ち時間等を音楽演奏により潤いのあるひと時としていただくため、区民サービスの一環としてランチタイムコンサートとして開催します。音楽を通じて、行政施設に対する親近感を高めるとともに、地域コミュニティの拠点としての機能強化を図り、区民の憩いの場、交流の場として、気軽に、身近に上質な音楽と接することができるよう文化意識の向上につなげていきます。
今年度の事業の取組内容	毎月1回(年間12回)区役所2階ロビー等において、「みやまえロビーコンサート」を開催します。年間12回のうち区役所以外の区内行政施設においても巡回コンサートとして開催し、提供する音楽は上質で季節に応じた、また、幅広いジャンルのプロ又はそれに準ずる演奏者とする事で、コンサートの質を担保し、来場者の増加や区民の満足度を高めます。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		毎月1回(年間11回)区役所2階ロビー等において、「みやまえロビーコンサート」を開催しました。(新型コロナウイルスの影響で3月は中止となった。)年間11回のうち区役所以外の区内行政施設においても巡回コンサートとして開催し、提供する音楽は上質で季節に応じた、また、幅広いジャンルのプロ又はそれに準ずる演奏者とする事で、コンサートの質を担保し、約1,700人の来場となりました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	成果指標	ロビーコンサート来場者数	目標	2,000	1,600			人	
				実績	2000	1,700				
	2			目標						
				実績						
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ている。今後も行政施設に対する親近感を高めるとともに、区民の憩いの場、交流の場として充実させてまいります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		より上質で幅広いジャンルの音楽を区民に提供するため委託仕様書内容を精査しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	毎回安定した来場実績を得ており、アンケート結果からも非常に高い評価を得ています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区民から高い評価を得ている事業のため、委託により事業を継続していく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区民サービスとして区民から高い評価を得ており、企画内容の充実に向けて事業を継続してまいります。 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況に応じて適切に実施していきます。)		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	15	宮前区役所BGM配信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691600		まちづくり推進部総務課		深澤	65112	

事業の概要									
事業の概要		区役所庁舎に音楽を流すことで来庁者の受付待ち時間のストレス軽減を図り、区役所サービス向上につなげることを目的に平成14年10月から本事業を実施、区役所に設置している専用のスピーカーを用いてBGMを庁舎内に配信しています。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業	
		平成14年度		—					
地域の課題と現状		区民課・保険年金課等の窓口来庁者の多いフロアを中心に受付待ちの時間が生じてしまうことが多くあります。特に繁忙期等は受付待ちが長時間にわたることもあり、そのことが来庁者のストレスとなってクレームや区役所イメージの低下につながる恐れもあります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	45	45	44	44	44			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	45	45	44	44	44			

計画 (Plan)	
事業の目的	区役所庁舎に音楽を流すことで来庁者の受付待ち時間のストレス軽減を図り、区役所サービス向上につなげます。
今年度の事業の取組内容	区役所庁舎内にBGMを配信し、区役所サービスの向上につなげます。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		目標通り達成できました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	年間を通した庁舎内のBGMの配信	目標	1	1				回(通年)
				実績	1	1				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区役所庁舎内で求められるサービスの質は、年々より高いものを求められる傾向にあります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区役所サービス向上の要求は高まっており、事業の必要性も継続していると考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	BGMに対するクレーム等は出しておらず、ストレス軽減の効果は発揮されていると考えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在も低額の予算で事業を実施できており、現状維持を予定しています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
庁舎内におけるBGM配信は区民に浸透しており、今後も継続していきたいと考えています。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	20	バリアフリー推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			大谷	65111

事業の概要

事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●平成15年度から地域課題対応事業にて事業を開始しました。 ●区役所・市民館の間にある市民広場は、転倒等による事故が発生する可能性があるため、ノンスリップタイルに補修することにより安全・安心に庁舎等を利用できることを目的とします。 ●宮前市民館・区役所の既設点字ブロックの補修を行います。 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区役所サービス向上事業				
		—	—						
地域の課題と現状		区役所・市民館の間にある市民広場は、築後36年が経ち、古いタイルは滑りやすく、転倒等による事故が発生する可能性があります。また、宮前市民館の点字ブロックは川崎市福祉のまちづくり条例整備マニュアルに適合していない箇所があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	財源内訳								
	国庫支出金 市債 その他特材 一般財源	2,495	1,922	2,436	1,881	2,436			

計画 (Plan)

事業の目的	市民広場利用者が安全・安心に庁舎等を利用出来ることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	市民広場の一部をノンスリップタイルを張り替えます。劣化及び現行基準に適合していない点字ブロックを補修します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	市民館出入口部分のタイルを滑りづらい材質のものへ張り替えました。宮前市民館既設点字ブロックの劣化部分の補修及び現行基準に合った点字ブロックに敷設替えを行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	タイルの張替え	目標	80	16		㎡
				実績	85.9	16		
	2	活動指標	視覚障害者誘導ブロック補修	目標	96	172		枚
				実績	108	172		
	3			目標				
実績								
4			目標					
			実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	令和7年度または令和8年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。その後、宮前区役所も移転する予定です。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	移転を踏まえ、適切に対応を行っていきます。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	来庁者が安全・安心に庁舎等を利用できるため、ニーズは高いと考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業を実施したことにより、市民広場利用者にとって安全・安心な場所になりました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	施工方法、施工箇所、仕様の変更等の見直しを行うことで、より効果的に事業を進められる可能性があります。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	取組みの見直し(施工方法、施工箇所、仕様の変等)を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えています。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	25	窓口サービス向上事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			693300		区民サービス部区民課		岩谷	65237	

事業の概要

事業の概要		来庁者が、区役所で過不足なく必要なサービスの提供を受けることができ、かつ快適に利用していただくため、接遇研修会の実施により職員の質の向上を図り、またサービス向上のためのワーキングチームを結成し、窓口サービスについての施策検討を行います。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業	
		—		—					
地域の課題と現状		区役所で行う手続き等については、年々その取扱いが細分化されることにより、窓口で案内を行う職員の質の向上が必須となっています。また、窓口で快適に過ごしていただく環境の最適化も、必要なものと考えています。							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	172	154	161	138	161			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	172	154	161	138	161			

計画 (Plan)

事業の目的	来庁者が、「窓口利用後にいかに気持ちよく後にしてもらえるか」の考えのもとに、①「接客サービス」、②「待合スペースや窓口の環境整備」の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者への各種手続き案内チラシの作成及び配布 ・待合ロビー内キッズコーナーへの絵本の補充 ・接遇研修会等の実施 ・ワーキングチームによる施策 ・団扇型順番待ち番号カードの使用

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	ほぼ目標どおり達成できました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	転入者への各種手続き案内チラシの配布	目標	100	100		%
				実績	100	100		
	2	活動指標	待合ロビー内キッズコーナーへの絵本の補充	目標	9	9		冊
				実績	9	9		
	3	活動指標	接遇研修会等の実施	目標	2	2		回
				実績	2	2		
	4	活動指標	若手職員による「ワーキングチーム」の打合せ	目標	17	14		回
実績				17	19			

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	窓口で求められるサービスの質は、年々より高いものを求められる傾向にあります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和元年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	職員向けウェルカムセット(宮前区で初めて業務に従事する職員用)の作成 過去のワーキングチーム取組成果物の整理・今後の取組ルールの変更		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	窓口サービスのより良い質への向上は、継続的に求められる状況にあります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	目標で設定した活動指標の設定値を達成しており、成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ワーキングチームでの討議等により、今後もより良いサービスを提供するための改善を行っていきます。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	「来庁者にいかに満足してもらえるか」という窓口サービスの向上については、常に考えていかなければならない課題であり、そのための環境整備は必須事項であると言えます。現在問題となっている新型コロナウイルス感染症に対する状況を踏まえ、安全かつ質の高いサービスの提供を目指して取り組みの強化を図ってまいります。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	28	45	30	区役所サービス向上推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			大谷	65111

事業の概要

事業の概要									
<ul style="list-style-type: none"> ●窓ガラス補修・1階女子トイレ洋式化(1カ所)を実施し、来庁者にとって安全で快適な庁舎にします。 ●オストメイト対応設備を設置し、どなたでも快適に利用できる庁舎環境づくりを行います。 									
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業	
		—		—					
地域の課題と現状									
震災等で窓ガラスが破損し破片が飛散した場合、ガラス付近を通りかかった利用者が被害を受ける恐れがあります。また、夏場は日光が入り込み、熱による庁舎環境の悪化、区役所外から庁舎内が見えることによるプライバシーの問題があります。区役所1階の女子トイレについては1カ所のみが洋式便器となっており、和式便器を使用することが難しい利用者が待たされる状況となっています。									
予決算 (単位:千円)									
年度		H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
事業費		4,482	3,377	3,901	3,632	2,695			
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特材							
		一般財源		4,482	3,377	3,901	3,632	2,695	

計画 (Plan)

事業の目的	来庁者にとって安全で快適な庁舎にします。
今年度の事業の取組内容	(1)庁舎中庭側の窓ガラスについて飛散防止フィルム張替を実施します。(2)区役所1階女子トイレについて、和式便座1基を洋式便座へ改修します。(3)区役所、市民館、出張所にオストメイト対応設備を設置します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	(1)庁舎中庭側の窓ガラスについて飛散防止フィルム張替を実施しました。 (2)区役所1階女子トイレについて、和式便座1基を洋式便座へ改修しました。 (3)区役所、市民館、出張所にオストメイト対応設備を設置しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	窓ガラス飛散防止フィルム張替	目標	137			㎡
				実績	137			
	2	活動指標	和式トイレ洋式化	目標	1			基
				実績	1			
3	活動指標	オストメイト対応前広便座	目標	1			箇所	
			実績	1				
4	活動指標	オストメイト対応簡易洗浄器	目標	4			箇所	
			実績	4				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	令和7年度または令和8年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。その後、宮前区役所も移転する予定です。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	移転を踏まえ、適切に対応を行っていきます。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	来庁者が安全・安心に庁舎等を利用できるため、ニーズは高いと考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業を実施したことにより、市民広場利用者にとって安全・安心な場所になりました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	施設の劣化状況や来庁者及び職員の意見を参考に、取組みの見直し(追加等)を検討することで、庁舎がより快適で安心安全な場所になる可能性があります。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	施設の劣化状況や来庁者及び職員の意見を参考に、取組みの見直し(追加等)を検討します。